

『超高齢化過疎広域医療圏における血栓回収療法の成果と課題に関する検討(倫理審査委員会 承認番号 83)』

のための医療データ提供のお願い

(作成日: 2025 年 9 月 16 日)

脳神経外科 医長 朴 憲秀

急性期主幹動脈閉塞に対する血栓回収療法による早期再開通の有効性と安全性のエビデンスが近年証明され、現在本邦において発症から再開通までの時間短縮への取り組みが行われています。その導入過程において克服すべき種々の課題が各施設で指摘されております。

奈良県南和医療圏においては、医療・交通インフラの整わない山間が占め、かつ超高齢・過疎社会となっており、その弊害として、例えば迅速に搬送できないことや、治療を担う人材確保ができない、といった問題が生じております。以前は、血栓回収療法を受けるべき超急性期脳梗塞患者さんは、県北方への転院搬送し実施せざるを得ず、最短最適な救済機会を失うことがございました。しかし 2024 年 7 月 1 日より脳血管内治療医が医療圏唯一の急性期病院である当院に常駐配置され、医療圏内での同治療の提供が開始されております。当医療圏内での血栓回収療法の導入実施により、超急性期脳梗塞患者さんへ適切で効果的な医療提供をなし得ているかを検討すべく、この度、診療内容に関する調査・研究を実施することと致しました。

= 調査の方法 =

- ・調査を行う施設

南奈良総合医療センター

- ・対象となる患者さん

倫理委員会承認日～2029 年 6 月 30 日の間に、当施設で血栓回収療法行った患者さん、または、これから診療を行う患者さん

- ・調査項目

年齢、性別、発症時期、病状経過、検査所見(採血・レントゲン・MRI 等)、治療内容および経過、治療 3 ヶ月後の状態など

= 調査の対象となる患者さんへ =

この調査で使用するデータは、カルテ等、あなたが治療を受けた医療機関に、すでに存在する情報のみを使用します。この調査により新たな検査や負担は発生しません。

病院スタッフは、医療従事者としての守秘義務が課せられており、患者様の個人情報は固く守られています。また、本調査で得られた情報を取りまとめるために、患者さんの医療データを登録システムに保存しますが、その際には患者さん個人を特定できる情報(住所・氏名・カルテ ID・年齢・電話番号等)は記載しません。同様に、医学雑誌等に発表す

る場合も個人が特定できないように配慮されます。ご提供頂いた医療データは厳重に保管され、研究終了後5年後に廃棄されます。本調査は、倫理審査委員会において、調査の対象となった方の不利益にならないことや医学の発展に役立つ情報が得られることが確認され、承認・許可を得たものです。

患者さん個別にこの調査へのご協力の意思については改めて伺わず、この「お知らせ」を以て患者さんのご同意を頂いたものとして実施されます。

本調査への協力は任意でございます。もしも医療データ等の提供をご辞退される場合、また研究の内容についてより詳細な情報を希望される場合やご質問等がある場合には下記の担当医師までお申し出ください（2029年6月末まで）。医療データ等の提供をご辞退された場合は、連絡を受けた時点でご提供頂いた医療データは廃棄させていただきます。また、ご辞退されたことにより患者さんが治療上の不利益を受けることは一切ありません。

問い合わせ先

南奈良総合医療センター

担当診療科 脳神経外科

担当医師 朴 憲秀

住所 〒638-8551 奈良県吉野郡大淀町福神 8-1

電話番号 0747-54-5000